

'07.
5.12 sat.
15:00 start

会場
同志社大学寒梅館
クローバーホール
(地階)

入場無料



Miotte by Ruiz

2001年 16mm 78min.
上映 DVD
提供 New Century New Cinema

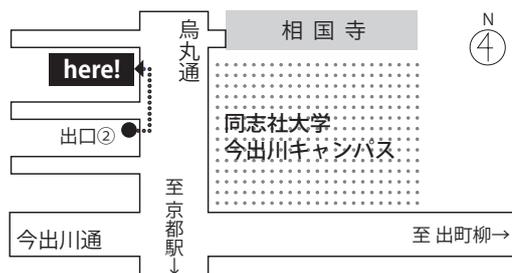
監督 ラウル・ルイス
出演 ジャン・ミオット
撮影 ジェイムズ・カラナン
編集 マーティン・ブーキン、ベアトリス・クレリコ
音楽 フリオ・エストラーダ、カルロ・ゲスワルド
製作 ジョルディ・トレント
(Duende Pictures <http://www.duendepictures.com/>)

Miotte vu par Ruiz



ラウル・ルイス
1941年チリ出身の映画作家ルイスは1973年ピノチェト将軍のクーデターによる軍事政権樹立直後ヨーロッパに亡命し、世界各地で映画製作を続け、100本近いフィルムグラフィアーを数える。日本では『見出された時』『クリムト』などヨーロッパ文芸大作の監督としてしか知られていないが、本領は超低予算あるいは一週間以内で撮られた作品にある。現在はチリ本国での製作を本格化している。

※この映画には最後にインタビュー部分がありますが、当日翻訳を配布します。(字幕なし)



▼地下鉄「今出川」駅②番出口より北へ徒歩1分
▼京阪「出町柳」駅より今出川通を西へ徒歩15分
烏丸通上立売西南角・赤レンガの寒梅館地階

本作 "Miotte by Ruiz" は、フランスの<アンフォルメル>抽象画家のジャン・ミオットの作業を、ニューヨーク、ハンブルグ、南仏のアトリエで3年にわたって追ったドキュメンタリーである。ミオットは1926年パリ生まれで、その作品はMOMA、グッゲンハイム他世界各地で展示されている。映画はミオットの作業プロセスや探求の時間を、ときには筆先にとりつけられたカメラで観察する。

参照； Raul Ruiz <http://www.lecinemaderaoulruiz.com/>
Jean Miotte <http://jeanmiotte.com/>

「これは絵画を描く戦いと厳しい作業を扱った最高の映画の1本だ。」

ジヨナス・メカス

16:30 ~
レクチャー

「ドキュメンタリスト？
ラウル・ルイス」

赤坂 大輔氏 (映画批評)

(<http://www.wncine.com/>)

(18:00 終了予定)

当ホールで毎週火曜日に開催している〈クローバーシアター〉にて、
《映画の美術館、絵画の秘密》と題し、本上映会の関連上映をおこないます。
日程は5/8(火)・29(火)の両日。詳しくは下記HPをご覧ください。

主催・お問合せ 同志社大学今出川校地学生支援課

TEL 075-251-3270 FAX 075-251-3099

E-mail ji-gakse@mail.doshisha.ac.jp

<http://doshisha.ac.jp/support/kprog/clover/>

